

「思いやり」が繋ぐ家族の距離

松宮

あきひろ

彰弘さん

さゆりさん

あやか
彩香さん

ななみ
菜々美ちゃん

くららちゃん



下鍵山に住む松宮さん家族。三姉妹を中心に、笑いが絶えない明るい家族です。

しつかり者の長女の彩香さんは2人の妹をお風呂に入れてくれるなど、よく面倒を見てくれる優しいお姉さん。最近ちよっとお姉さんらしくなった次女の菜々美ちゃんと、天真爛漫で家の中を和ませてくれる三女のくららちゃんにとっては、母親が2人いるかのような頼もしい存在です。

現在、彰弘さんが単身赴任中の松宮さん一家。彰弘さんは「3人の子どもを任せて本当に大変な思いをさせている。それでもきつちりやってくれて助かります」と温かい言葉でさゆりさんを労ります。

一方さゆりさんは、彰弘さんの仕事に対する姿勢を「尊敬する」と話し、「普段いい分、帰ってきたときに有難みを感じるんです」と彰弘さんを引き立てます。普段は物静かだという彰弘さん。多くは語らずともその行動から、大黒柱としての存在の大きさを家族全員が感じているようでした。

子どもたちに「人を助けられる人になってほしい」と話す彰弘さんとさゆりさん。お互いを労り、尊敬し合う両親2人のその姿こそが、子どもたちにとっての最良のお手本となっていることでしょう。

次回は家族ぐるみの付き合いがある山口信行さんご家族です。

編集後記

▼今号でこの「広報きほく」も100号目を迎えることができました。広見町と日吉村との合併により「鬼北町」になって、約8年。快く取材に協力していただいた方々、イベントの主催者、各団体の代表者、町外の読者の方々、そして町民の方々。たくさんの方々のおかげで、「広報きほく」を作り続けることができています。これからも、より町民の方々に親しまれる、そして読みやすい広報を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。
(菜)

お詫びと訂正

広報きほく3月号に誤りがありました。お詫びの上、訂正します。

P18「戸籍の窓」

『お悔やみ申し上げます』

(誤) 宇都宮宗六 95 北川

(正) 宇都宮宗六 81 北川